



明治期 博文館の筆禍

講演内容

筆禍とは、発表した文章の内容が時の権力や社会にとがめられて災難を受けること、といった意味である。
 これまでほとんど言及されなかったが、明治期を代表する出版社博文館は種々の筆禍をひきおこしてきた。無断転載、剽窃、官吏侮辱、発売禁止などであるが、これらの事情や博文館の対応について検証する。

2024年

日時

11月17日（日）14:00～15:30

講師

浅岡 邦雄 氏

元中京大学教授
 著作に『〈著者〉の出版史』（森話社）、『日本出版関係書目 1868-1996』共編（日本エディタースクール出版部）、
 『明治期「新式貸本屋」目録の研究』共編著（作品社）
 その他多数

参加方法

定員

YouTube配信（定員なし）*申込者限定配信

港区立麻布図書館 視聴覚室<5階>（定員先着30名）

*三康図書館は会場ではありません。ご注意ください

アクセス



【地下鉄】
 都営大江戸線・東京メトロ南北線
 麻布十番駅 7番出口 徒歩2分

【都バス】
 (都06) (橋86) (反94) (反96)
 麻布十番駅前バス停 徒歩5分

【港区コミュニティバス(ちいばす)】
 麻布西ルート 麻布十番バス停 徒歩2分
 麻布東ルート 東麻布三丁目バス停 徒歩7分
 田町ルート 麻布十番バス停 徒歩2分

申込方法

①QRコード



②電話 03-3431-6073

三康図書館（平日9時～17時）
 *会場参加の方のみ電話でも受付します